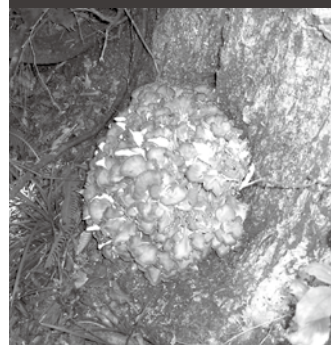


農業委員会だより

■発行人 飯山市農業委員会 会長 伊澤春一
■編集 飯山市農業委員会 情報委員会



天然のまいたけ

09.9
No.178

新農業委員18名を紹介します

氏名
地区・行政区
所属委員会等

順序は議席番号順です



大熊 傳 (常盤・小沼)
農業振興委員



佐藤 次郎 (木島・天神堂)
農政対策副委員長



佐藤 重雄 (常盤・戸狩新田)
選任・農業振興委員



沼田 浩子 (常盤・小泉)
農政対策委員



宮崎 孝太郎 (岡山・温井)
選任・農業振興委員



竹井 政志 (飯山・北町)
選任・情報委員



吉越 昇 (瑞穂・関沢)
情報委員



江口 清重 (岡山・羽広山)
農業振興副委員長



丸山 花子 (瑞穂・柏尾)
情報副委員長



今井 寛 (木島・野坂田)
農政対策委員



武田 恒夫 (柳原・南条)
農業振興委員



望月 弘幸 (瑞穂・柏尾)
選任・農政対策委員



坪根 登美子 (秋津・北畑)
情報委員



西川 允久 (飯山・有尾)
情報委員長



小林 隆行 (外様・顔戸)
農政対策委員長



大口 千恵子 (太田・北条)
農業振興委員長



松永 晋一 (秋津・中山根)
会長職務代理・情報委員



伊澤 春一 (太田・五東)
農業委員会・農政対策委員

就任あいさつ 会長 伊澤春一

この度の農業委員の改選によりまして、再度農業委員会長に選任されました。浅学非才の身でその器ではありませんが、一生懸命頑張りたいと思っております。

農業を取巻く環境は、課題ばかり山積しておりますが、国では、特に食料自給率の向上の目的のために、その農業生産がされる基礎的な資源である、農地の総量確保と有効利用を図るため「農地法の一部を改正する法律」が本年6月24日に公布され、年内の施行が確実になりました。



藤沢・原の新堤

今回の改正では、特に農地の所有から利用への転換で農地を利用する者の確保の拡大をめざしております。また、遊休農地の解消をめざして、農地は地域における貴重な資源であると位置付け、農地について所有権、賃借権等の権利を有する者は、その適正かつ効率的な利用をしなければならぬという責務規定が設けられました。

このようなことから、農業委員会も農地の有効利用のため、特に遊休農地対策での役割が大きくなりました。

当地域でも、年々農地の遊休化が進んでおりますが、皆さんの協力を得ながら、関係機関と連携を図りその解消に取り組みたいと思います。

農業情勢は厳しさを増すばかりであります。農業者の皆様の意見を聞きながら、元気な地域農業を目指して頑張る所存であります。

皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。さつといたします。



藤沢・原の新堤に泳ぐ鯉

農業委員改選による新役員が決定しました

任期満了に伴い、去る7月5日に告示された飯山市農業委員会委員の一般選

挙は、定数14名に対して立候補の届出が14名であったため、無投票となり、7月12日に開かれた選挙会で当選者が決定しました。

また、学識経験者等から選ばれる選任の農業委員4名も決定し、併せて、18名の農業委員が誕生しました。

委員の任期は本年8月1日から平成24年7月31日までの3年間で、新農業委員による最初の農業委員会が8月5日に開かれ、組織体制等が決定しました。

新役員は次のとおりです。

会長に伊澤春一さん(太田)、会長職務代理に松永晋一さん(秋津)、農業振興委員長に大口千恵子さん(太田)、農政対策委員長に小林隆行さん(外様)、情報委員長に西川允久さん(飯山)。

また、選任委員として、竹井政志さん(議会・飯山)、望月弘幸さん(議会・瑞穂)、佐藤重雄さん(JA・常盤)、宮崎孝太郎さん(中部土地改良区・岡山)がそれぞれ市長より委嘱されました。

北信五市農業委員研修会が開催されました

8月26日に飯山市公民館の2階講堂において、平成21年度北信五市農業委員研修会を、飯山市が当番市として開催いたしました。

研修会では、長野県農業会議事務局長の白石芳久氏から、「所有」から「利用」への農地制度見直しを促進する農地法の改正状況等について、長野県農政部長の萩原正明氏からは、高い競争力があり、環境にやさしく、住みよい地域を目指す長野県農業の基本方向や重点戦略について講演をいただきました。

また中野市農業委員の小島辰比古氏からは遊休農地にクワイモを植えた事例発表がありました。

今回の研修会には、近隣四町村の農業委員も加わり、約200人の参加者はそれぞれ熱心に耳を傾けていました。

課題が山積の今後の農業委員活動に大いに役立つ内容の研修会でした。

